学校番号	３０５

令和　三　年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ(芸能文化科)	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂版　現代文Ｂ（数研出版）」（第２学年では第一部を扱う）						
副教材等	「新装版　現代文読解 WORKS　レッスン２」（尚文出版株式会社） 「読解現代文必携　キーワードの卵」（尚文出版株式会社） 「巻頭増補版　最新国語便覧」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「現代文Ｂ」では、言葉を通して現実を見つめ、主体的に生き、伝え合う力を高めて、これからの社会で生き抜くことができる国語の力を育成することを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢を持って授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することを心がけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも積極的に言葉に関わり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。

2　学習の到達目標

・論理的な文章について、論理の展開、要旨を理解することができる。
・文学的な文章について、人物、情景、心情を的確に捉えることができる。
・文章を通じて、語彙力を豊かにし、様々な表現上の特徴を知り、読解力を身につける。
・授業を通じて、自己を表現するとともに相手の表現を理解することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現により文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート、ワークシート等）	・行動の観察（発表等のパフォーマンスの評価）	・記述の確認及び分析（ワークシート、原稿用紙）	・記述の確認及び分析（ワークシート） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認（ノート、ワークシート） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
(前期) 4月	評論(一)	国境を超える言葉	○			◎	○	a:抽象的・比喩的な表現の文章を理解しようとしている。 d:文章の構成を確かめ，筆者が主張する「もう一つの言葉」について的確にとらえている。 e:文章の展開において逆接の接続詞が果たす役割を意識している。	a.行動の観察、記述の点検 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査
5月	小説(一)	山月記	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読んでいる。 d:「李徴」の人柄や心情の推移を的確にとらえ，人間が虎になるという作品設定の意図について考察している。 e:漢文調の文体や語句が作品にもたらす表現上の効果を理解している。	a.行動の観察、記述の点検 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査
6月	評論(二)	「内的成長」社会へ			○	◎	○	c:哲学的な文章について自分なりに考え意見を記述できる。 d:「中間社会」の現状と課題をそれぞれ箇条書きにしてまとめている。 e:哲学的な意味を持つ語句について，その内容を理解している。	c.記述の点検 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査
7月	小説(二)	無用の人	○	◎		○		a:場面ごとの「私」の心情変化を読み味わおうとしている。 b:「無用」の辞書的な意味をふまえたうえで，タイトルに込められた意味を考え伝えようとしている。 d:「私」「父」「母」の人物像や関係性を正しくとらえている。	a.行動の観察、記述の点検 b.行動、話し合い活動の観察 d.記述の確認及び定期考査

9月	評論三	擬似群衆の時代	○			◎	○	a:社会事象を取り扱った表論文に対し具体例を踏まえて自分事として理解しようとしている。 d:「映像」に関わる出来事を時間の流れに沿って整理し，それぞれに対応した群衆のあり方をとらえ，「待機する群衆」という表現に込められた筆者の意図を考察している。 e:接頭語の意味と用法を的確に理解している。	a.行動の観察、記述の点検 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査
（後期 10月	小説四	果汁	○		◎	○	○	a:抽象的な表現の小説を自分なりに読み味わおうとしている。 c:小説世界について登場人物の心情を想像し表現している。 d:「彼女」の心情を表現に即して読み取っている。 e:情景描写がもたらす表現上の効果を理解している。	a.行動の観察、記述の点検 c. 記述の確認 d. 記述の確認及び定期考査 e.定期考査
11月	評論四	偶然とは何か			○	◎	○	c:本文における「偶然」の持つ価値について考えを深め記述している。 d:人間が「必然」と「偶然」をどのようにとらえてきたかの歴史を本文に沿って読みとっている。 e:傍点の表現効果や対義語について理解している。	c.行動の観察、記述の点検 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査

12月 1月	小説 三	こころ	○	○		◎	○	a:近代文学作品について読み味わい、その精神から現在との差異について考えようとしている。 b:登場人物の心情について自分なりに想像し、Kの自殺の理由について周囲と意見を交換し理解を深めている。 d:登場人物の心情を表現に即してとらえたりている。 e:作品理解の上で必要な社会背景等の知識を身に付けている。	a.行動の観察、記述の点検 b. ディベート、行動の観察 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。